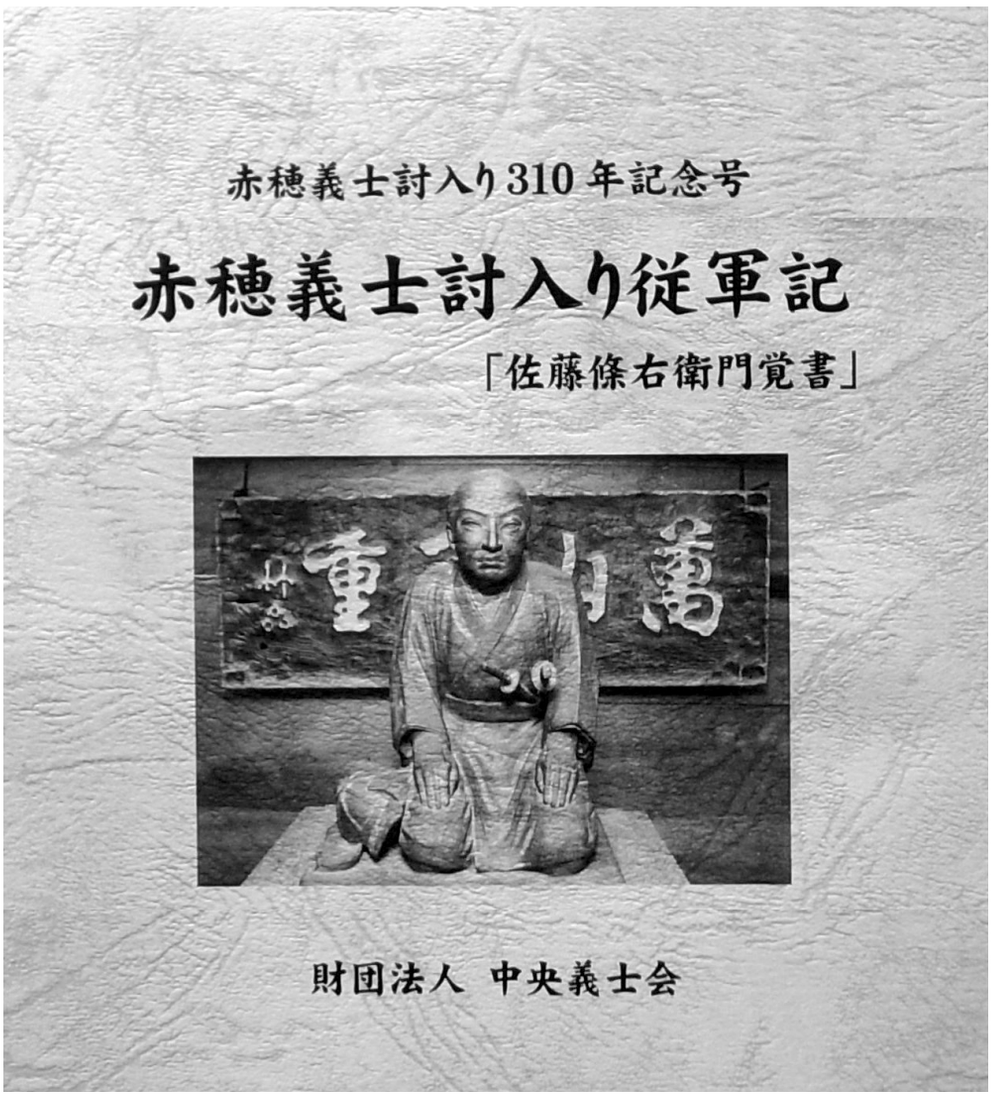

全国義士会連合会報

発行人
〒104-0052
東京都中央区月島3-15-9
全義連事務局
TEL 048-973-3777
編集者　中島康夫

義士一級史料の解説本
11年ぶり改訂版刊行
「赤穂義士討入り従軍記」

当会が平成11年に討入り300年記念として発刊した「佐藤條右衛門覚書」の改訂版。インターネット上でとやかく言われてきたので、今回は一歩進んだ心情を吐露。更に、原文の誤りを冨澤先生の力を借り、なるべく史実に忠実に校閲した。また、安兵衛の新しい史料も取り入れながら、写真、絵画なども挿入した。監修者として後世に残る一冊にしたつもりである。

この一冊を知らずして、忠臣蔵勉強者よ、何をか語らんやである。平成25年10月30日発行。

解説本はＡ５版156ページ。一部1,200円、送料100円。（10冊以上は一冊960円、送料無料）。

郵便払込用紙に「従軍記」と記し、下記へ。

００１３０－０－５４５６８　中央義士会

振込次第発送す。TEL 048-973-3777

ホームページ
忠臣蔵会館
出版・校正・協力
テレビ製作協力
講演・史跡案内
http://www.chuushingura.net/

安兵衛と長井家

中央義士会会員　長井寛三

堀部安兵衛は十九歳のとき戦国時代より長井家に伝わる美濃の名刀兼元と金子五両を携えてひたすら佐藤條右衛門の住む江戸をめざし越後を後にしました。

私の本籍地は越後の中蒲原郡牛崎村八十番地（現住所新潟市南区牛崎八〇）、そこに堀部安兵衛武庸が十四歳から十九歳までの間寄宿していました。安兵衛は元の名を中山安兵衛応庸と名乗っていました。新発田城主溝口秀勝の室は越後長井家の高祖前左衛門督長井彌兵衛利直（通称源七郎）の娘、のちの瑞雲院です。瑞雲院の五女糸が溝口四郎兵衛に嫁ぎ、るいが誕生、そのるいが中山彌次右衛門に嫁ぎ、きんと安兵衛が生まれます。安兵衛は秀勝侯のひ孫に当たります。産後まもなく母るいが亡くなり、母方の祖母や祖父溝口四郎兵衛に育てられます。父弥次右衛門は新発田城の出火の咎を受けやむなく自害して果てます。祖父四郎兵衛も亡くなった後、少年安兵衛は姉きんの嫁ぎ先である私の実家長井家に身を寄せます。安兵衛は五代当主彌五左衛門より厳しくも慈愛に溢れた手解きを受け日夜勉学に励んだと云えられています。歴史書、漢書、儒学書、医学書をはじめ『武士道』など膨大な蔵書の目録が長井家に残っています。寄宿の間、安兵衛は長井家の現金出納に関する記述を克明に記していましたが、出火や不注意で喪失する羽目になったことは無念の極みです。安兵衛が住んでいた当時の長井家を著わす記述「堀を廻らし「尊孝館」の大額を掲げ老樹森々寂然として古社寺に入る想ひ…。安兵衛能く其志を成したるの素を慈に養ふたことを思ふ」（上野喜永次著『堀部安兵衛』）に思いを馳せています。

安兵衛の変名長江長左衛門

高祖利直の父は美濃の長井藤左衛門尉景弘、祖父は藤左衛門尉長弘、曾祖父は七郎衛門尉秀弘に当たります。長井家初代先祖は鎌倉幕府の重鎮大江廣元、二代が廣元の二男で茜部庄の地頭職であった長井時廣です。泰秀，時秀、宗秀、貞秀、擧冬、氏元、氏廣、兼廣と続き、そして秀弘が長井家の十一代目の末裔であろうと『戦国時代論』（岩波書店）『岐阜市史』（両書とも勝俣鎮夫著）が伝えています。初代から三十一代まで大江の惣領家が連綿として引継いでいます。齋藤道三が娘婿信長に「長井家は名家由、討つな」が長井家の口伝になっています。安兵衛が本所林町で用いた変名「長江長左衛門」の謂れを察するに余りある思いに浸っております。

長井家の墓地の中央に明治八年に四代の前右衛門佐彌五右衛門の墓が再建されました。最近になって冨澤信明新潟大学名誉教授がその墓の後部に安兵衛に関する文字を突き止めた記事が新聞に報道されました。おそらく高場馬場のものよりも古い石碑に違いないと云うことです。

安兵衛と佐藤條右衛門

高祖長井彌兵衛利直の室は山内一豊の妹に当たる米、二人の間に新発田城の縄張りをした長男清左衛門、二男三郎左衛門、長女溝口秀勝の室瑞雲院、次女山内康豊の室（康豊は一豊の弟）の子女がいました。佐藤條右衛門の姉が戸頭村の三郎左衛門の家に嫁ついだ縁で安兵衛と條右衛門のふたりは意気投合、兄弟同然の永久の従弟の契りを結びました。また三郎左衛門の家には剣術の道場があり共に汗を流し合う仲であったと云われています。

長井家宛の安兵衛の手紙

江戸へ出てからの安兵衛はしばしば長井家に書簡を送っています。その書簡中の二通が当長井家に家宝として伝わっていましたが、私の父長井安は安兵衛の誕生地の新発田市で永く保存し、市民に展示されるならばと、平成元年八月に遺刀の太刀一振と書状二通（軸装と巻物装）ときん愛用の刺身包丁などを新発田市に寄贈致しました。

元禄十年（？）安兵衛から姉きんの夫六代長井彌五左衛門政房宛ての書簡は以下の通りです。「私こと、当七月五日男子が生れました。母子とも元気です。祖父が安之助と名づけました」「松之助はじめ吉之丞随分心立、姉てふ、妹ば

ん・・・、」と安兵衛は甥や姪のことにも心を寄せています。もう一通の書簡ー元禄十二年九月十五日甥の第七代長井彌五左衛門宛の書「あなたも亡父にあやかり、人々から好ましく思われるようにこころがけること。」など甥に教訓を垂れ、「三郎左殿御内方弟坊主恵芳坊僧、七月中旬当方へ参られ」と記し佐藤條右衛門の弟に言及しています。また長井家に寄宿中に知り合った人達とは赤穂浅野家家臣となった現在も交際のあることや一両年世話になった長井家に寄せる安兵衛の心情がいかんなく表れた書簡になっています。安兵衛は末筆に「我等こと去る暮，尾州へまかり登り候・・・。」は尾張大納言光友の室の死去の際、浅野家の弔問使として派遣されたことを示しています。

泉岳寺の安兵衛

先日泉岳寺の安兵衛のお墓に牛崎の墓地に記した墓誌、家系図などを捧げました。するとどうでしょう。風もないのに蝋燭に真っ赤な焔が燃えたぎりました。三百年の時空がいっきに縮まったそんな思いのする一日でした。

左　堀部安兵衛の姉きんのご子孫長井寛三氏
右　次女ばんの子孫石川富男氏
（平成25年2月4日　毎日新聞より）

忠臣蔵サミット in 新発田

今年の忠臣蔵サミットは、堀部安兵衛武庸の生まれ故郷、新潟県新発田市で13の自治体が集まり、11月1日と2日の2日間にわたって開催されました。

11月1日

最初に、講釈師神田松之亟さんの記念講談「安兵衛駆け付け」「勝田新左衛門」。その後、各自治体の特産品のPRに引き続き、開催セレモニーと交流会議が行われました。

交流会議は、記念シンポジウム「江戸時代に学ぶ地方の元気」と題して、法政大学教授田中優子氏がコーディネーター、各自治体の首長がパネリストとして参加しました。

11月2日

サミット参加者による新発田城や長徳寺などの市内見学の後、武庸橋渡り初めの祝賀パレードが、市民によって行われました。パレードには、御免町小学校安兵衛太鼓や新発田高校スウィングハイソサエティによる演奏などが華やかに繰り広げられました。

泉岳寺・若狭野浅野家墓地を尋ねて

相生市歴史研究会　会長　月岡　定康

昨年十一月、上京の機会に常々思っていた浅野家墓地の確認をしようと考え、有年考古館の宮崎素一氏にお願いしたところ、東京の中央義士会・中島康夫理事長にお話下さり、お忙しい中、ご案内していただくことになった。

左　月岡氏　右　中島理事長

当日は、あいにく雨で、中島理事長には大変ご迷惑をおかけしてしまった。墓地は四十七士の墓地の背後にある小高い丘にあり、登り口に門扉があって一般には開放されていない場所だった。この地には、七十七年前の昭和十一年三月二十七日に小林楓村氏自身が墓参に訪れている。当時、案内した泉岳寺の牧野師は、廣島浅野家の墓と思われていたそうだ。墓地の周囲は六間半四角で廻りに堤があり、樫、椿、杉等が生えていたという。そこに長直公、長恒公以下長和までの各領主と奥方及び童子童女の墓があり、いずれも立派な墓石であったと記されているが、その面影は全くなかった。中島理事長もすっかり様子が変わっているのに驚かれていた。お墓は長直公、長恒公のものしかなく、過ぎゆく時代の流れを思わざるを得なかった。それだけにこの機会にしっかり記録を残しておく必要を痛感した。このままでは若狭野浅野家の痕跡は泉岳寺から消えてしまい兼ねない。

初代の長恒は本家の起こした騒動の後始末役とその後の江戸での赤穂本家歴代供養、地元の小河観音堂内にある四十七士位牌堂（十八世紀初頭頃建立・平成十九年頃消滅）の建立など後世に引継ぎ、自身は堺奉行を務めるなど若狭野浅野家の面目を守り続けた。また、歴代当主は旗本として、江戸火事場見回り役としても活躍して来た実績を残している。

浅野長直公墓と長恒公墓

更に慶応三年頃、「義士」の功績を強調して、彼らの赦免を乞い、祖先の供養と「義士」の「忠魂」の慰霊を公然と行いたいと願い出た文書として嘆願書案文が残されている。地元若狭野地域にとっても赤穂浅野家本家の名誉を守り続けて、明治維新まで頑張って来た若狭野浅野

家の歴史を後世にしっかりと伝え残して行くことを忘れてはならない。最近まで、歴史に関心を持つ赤穂市の人たちでも浅野陣屋のことを知らない人が多くなったのが現状である。

平成二十一年十二月には、江戸東京博物館で「旗本がみた忠臣蔵―若狭野浅野家三千石の奇跡―展」が開かれ、相生市の歴史が一躍注目を浴びたこともあり、陣屋一帯、現在の菩提寺である福井・観音寺、明治三十年代までの菩提寺であった雨内・教証寺などの史跡、文書、伝承などをしっかりと後世に伝え残していかなくてはならない。

一旦、泉岳寺の境内に下りて、一般公開されている四十七士の墓地に向かい、その一角に設けられた堀部安兵衛の娘といわれる妙海尼の墓に案内していただいた。今回は教証寺に「妙海尼葛籠之記」（相生歴史研究会で収録済）という文書が伝えられていることが分かり、その中に同女がここに葬られていることが記されていたので、その確認が出来たのである。たつの市立龍野歴史文化資料館発行「忠臣蔵と旗本浅野家」によると、「堀部弥兵衛の娘・安兵衛の妻と自称し、数十年に亘って浪士の供養を続け、安永七年（一七七一）二月二十五日に九十五歳で死去した」とあり、また、若狭野浅野家の「御当家御本家実御本家其他御戒名帳」には、若狭野浅野家歴代当主や本家（廣島藩）、実本家（赤穂藩）代々の戒名とは別に、「義士四拾七名」の戒名と年回忌が記されており、妙海尼についても天保五年の五十七回忌には七回忌の先例に則って、茶湯料金弐分を手向けていることが記されている。当時、若狭野浅野家の菩提寺だった教証寺では、明治三十三年に長矩公二百回忌を近隣の寺院を招き執り行われている。このとき、津田源右衛門なる人物からは妙海尼の遺品であった「葛籠」の奉納を受け、旧家臣の末裔吉田有雄という人からは「三尊来迎佛画」が納められた。この仏画は妙海尼が自身の清浄庵に安置して、日夜礼拝供養した遺物だという。葛籠は十年ほど前まで存在したが、損傷が激しく処分されたそうである。なお、七代長発以降の菩提寺は福井の観音寺に移っている。

妙海尼墓（背後の丘の上に長恒公墓）

激しい雨の中、墓地の確認とお参りを済ませ、赤穂義士記念館を中島理事長の案内で、拝観させていただいたが、次の予定もあって、ゆっくりお話させていただく間もなく、お別れをした。

追記

中島理事長は八月二十日・ＢＳ３の「歴史館選・忠臣蔵」に出演され「佐藤條右衛門覚書」という文書についてお話をされましたが、当時の庶民が見た討ち入りの様子が記されているそうです。今年の年末にはこのことについて本を再版されるそうであります。忠臣蔵に対する考え方が一変するかも知れません。

参考文献

・播磨第二巻　二十七号
・教証寺　妙海尼葛籠之記及び来迎佛之記
・たつの市立龍野歴史文化資料館発行
　忠臣蔵と旗本浅野家

赤穂義士討入り従軍記
平成二十五年十月三十日
改訂決定版出版

今期中に出版された「忠臣蔵」関係新刊本

書　名	編著者	発行所	価格
〈近刊〉忠臣蔵の本尽くし	赤穂市立歴史博物館編	赤穂市立歴史博物館	（未定）
赤穂浪士と吉良邸討入り	谷口眞子著	吉川弘文館	2,100円
赤穂義士討入り従軍記 「佐藤城右衛門覚書」	中央義士会	中央義士会	1,200円
演劇界 2013年12月号	演劇出版社編	演劇出版社	1,400円
週刊 日本の城 No.40	デアゴスティーニ・ジャパン編	デアゴスティーニ	590円
バイリンガルコミックス 忠臣蔵 The 47 Ronin	S.M.ウィルソン原作、アリス・フィッシュ画、田代廉子訳	講談社	1,575円
ちから	森 秀樹著	小学館（ビッグコミックススペシャル）	950円
剣豪小説傑作選 一刀両断	柴田錬三郎著	新潮社（新潮文庫）	661円
きまぐれ歴史散歩	池内 紀著	中央公論社（中公新書）	798円
徳川歴代将軍事典	大石 学編	吉川弘文館	13,650円
江戸検クイズ百問答〈事件編〉	江戸文化歴史検定協会編	小学館	945円
江戸っ子が惚れた忠臣蔵 －赤穂義士の実像と虚像に迫る－	菅野俊輔著	小学館	1,365円
播磨 城主たちの事件簿	播磨学研究所編	神戸新聞総合出版センター	1,785円
週刊 日本の城 No.26	デアゴスティーニ・ジャパン編	デアゴスティーニ	590円
そばもん ニッポン蕎麦行脚 12	山本おさむ著	小学館（ビッグコミックス）	580円
週刊 日本の城 No.20	デアゴスティーニ・ジャパン編	デアゴスティーニ	590円
肥後藩参百石米良家	近藤健・佐藤誠著	花乱社	3,990円
男の隠れ家 2013年5月号 —武士道とは何か?—	男の隠れ家編集部編	プラネットライツ	680円
忠臣蔵浪漫	田崎政男	田崎政男	非売品
和樂 2013年6月号 —待ってました! 歌舞伎座—	和樂編集部編	小学館	1,300円
浮世絵出版論 —大量生産・消費される〈美術〉—	大久保純一著	吉川弘文館	3,990円
染五郎の超訳的歌舞伎	市川染五郎著	小学館	1,575円
吉良家日記 吉良町史別冊資料	西尾市史編さん委員会編	西尾市	5,000円
Discover Japan 2013年4月号 -新しい歌舞伎入門-	Discover Japan編集部編	枻出版社	980円
季刊 新そば No.145	種村桂介編	北白川書房	500円
敗者の日本史15 赤穂事件と四十六士	山本博文著	吉川弘文館	2,730円
サライ 2013年2月号	サライ編集部編	小学館	680円
Discover Japan 2013年2月号 －人生に効く「武士道」入門－	Discover Japan編集部編	枻出版	980円
どんでん返し忠臣蔵 元禄姫君捕物帖	鎌田 樹著	廣済堂出版（廣済堂文庫）	660円
忠臣蔵と日本人	平塚柾緒ほか執筆	徳間書店（TOWN MOOK）	750円
ゼロからわかる忠臣蔵	中田健司ほか執筆	学研（Gakken Mook CARTAシリーズ）	950円
日本を動かした偉人100人に学ぶ リーダーの英断	山内昌之監修、造事務所編著	日本経済新聞出版社（日経ビジネス文庫）	735円
仮名手本忠臣蔵	金原瑞人翻案	偕成社	1,260円
白狐魔記 元禄の雪	斉藤 洋著	偕成社	1,680円
描かれた赤穂義士	赤穂市立歴史博物館編	赤穂市立歴史博物館	1,300円
「忠臣蔵」の決算書	山本博文著	新潮社（新潮新書）	777円
タイムスリップ忠臣蔵	鯨統一郎著	講談社（講談社文庫）	660円
忠臣蔵と江戸の食べもの話	西まさる著	新葉館出版	1,575円
大江戸「事件」歴史散歩	大石 学監修	中経出版（中経の文庫）	750円
国立文楽劇場 第128回文楽公演（通し狂言仮名手本忠臣蔵）筋書	国立文楽劇場営業課編	日本芸術文化振興会	650円
歴史の愉しみ方 －忍者・合戦・幕末史に学ぶ－	磯田道史著	中央公論社（中公新書）	777円

・市販されていない著書もございます。
・ほんの一部だけ元禄事件を扱っている出版物で除外している著書もございます。
・この一年間で、この他に出版された忠臣蔵物、あるいは元禄事件関係の書物をご存じの方は、ご教授下さい。
・本ページに関して、赤穂市教育委員会 生涯学習課 小野真一氏の協力を得ました。

第10回忠臣蔵通2級検定試験問題

［申込方法］

・　検定試験の受験をご希望の方は、住所、氏名、電話番号、ＦＡＸ番号並びに、第１０回２級検定試験申込と記入した用紙を、下記宛てＦＡＸまたは郵送でお送り下さい。ＦＡＸをお持ちの方は、できるだけＦＡＸでお願い致します。折り返し受験要項をお送り致します。

宛先　〒135-0047　東京都江東区富岡１－１７－１－４０３

ＮＰＯ法人　忠臣蔵倶楽部

ＴＥＬ／ＦＡＸ　０３－３６３０－１９２７

・　受験要項に従って、検定試験料をお振り込み下さい。振り込みで受験申込となります。
・　受験申込された方に問題の解答票をお送り致しますので、解答票に解答をご記入しお送り下さい。
・　合否は１１月になってからお知らせ致します。

［注意事項］

・　合格点は８０点です。２４問以上正解で合格となります。
・　ご自宅で資料を調べて解答していただいて結構です。
・　試験問題を調べるために、お電話等で各施設へ直接問い合わせることはおやめ下さい。
・　同じく、会員、受験者同士でも試験のための連絡はおやめ下さい。特に申し上げるのは、連絡しあっている方は、同じ答えで間違っているのですぐにわかります。
・　問題をよく読んで、一言一言理解した上で、解答して下さい。問題を読み間違えないようにお願い致します。ひっかけ問題も出題されています。
・　記入問題については、解答用紙以外に別紙を添付していただいても結構です。
・　**受験料は締め切りの１ヶ月前までにお納め下さい。**
・　**最終提出日は、平成２６年１０月末日です。**

平成２５年１２月

第１問	矢頭右衛門七とつながる品物といえば次のどれにあたるでしょうか。 ①はし　②わらじ　③ももひき　④はらまき
第２問	吉良邸討入りの際、寝間で上野介が見つからないため、一筆認め、寝間で貼り紙をした四十七士はどなたでしょうか。
第３問	吉良上野介は元禄１４年９月３日、本所松平登之助の屋敷跡に入居しましたが、登之助はどなたの孫にあたる方でしょうか。
第４問	吉良邸討入りの途中で、上野介の家臣が長屋の横板に穴を開けて逃げたようですが、それを目撃した方がおりました。どなたでしょうか。
第５問	五代将軍綱吉に、討入りを直接報告した方は、どなたでしょうか。

第６問	京都に在住していた僧で、大石内蔵助に信頼されていた方がおりましたが、なんという僧でしょうか。
第７問	吉良町に戒名を削り取られているお墓があります。どなたのお墓でしょうか。
第８問	泉岳寺の寺坂吉右衛門の前にあるお地蔵さんは、どなたの努力で建立できたのでしょうか。実際に寺との交渉に当たった方のお名前を示して下さい。
第９問	上杉家の付き人についてお尋ねいたします。誤りはどれでしょうか。 ①討入り当夜は、２０人程揃えていた。 ②松之廊下事件の方が、実際に付き人がいた。 ③１２月１４日の討入り時は、全員吉良家家臣で一人もいなかった。 ④３４人が吉良邸に向かったが、討入りの後の後片付けだった。
第10問	下谷神社の真裏に小さな祠（ほこら）があります。なんでしょうか。次のどの方と関係があるのでしょうか。 ①堀内源左衛門　②細井広沢　③佐藤條右衛門　④天野弥五右衛門
第11問	大石内蔵助が詠んだとされる「あら楽や・・・」は、どこで詠んだのでしょうか。 ①細川邸　②泉岳寺　③吉良邸　④仙石邸
第12問	中央区の十恩公園に残っている「鐘」についてお尋ねします。どれが正しいのでしょうか。 ①あの鐘こそが、大石内蔵助らが聞いた鐘そのものである。 ②いや、今まで鋳造仕直しているのでそうともいえない。 ③３１０年前の鐘は完全に紛失してしまっている。 ④ある廃寺より下げ渡されたものである。
第13問	安田好時（やすだよしとき）とはどなたのことでしょうか。
第14問	元禄４年３月１４日に亡くなられている方はどなたでしょうか。 ①せん　②クマ　③タン　④イヨ

第15問	橋本平左衛門が心中した茶屋はなんという茶屋でしょうか。 ①笹屋　②万屋　③五鉄　④しらみつ
第16問	真偽のほどは別として「左全控書」に出てくる二人の義士はどなたでしょう。 一人は（　矢頭右衛門七　）もうひとりは（　　）
第17問	大石内蔵助が元禄１５年１１月５日に入宿したのが小山屋という旅籠ですが、その隣の旅籠は何という名前でしたでしょうか。
第18問	大石内蔵助は自分の書状の上で「人前」というキーワードをいっておりました。これには二つの大きな内蔵助の願いが込められておりました。何と何でしょうか。
第19問	討入り後の細川家の事です。大石内蔵助の佩刀にある銘が彫ってあり、お世話役の堀内伝右衛門は難しい言葉で自分には読めないといっておりました。なんと彫ってあったのでしょうか。
第20問	興聖寺という寺院には、どなたの供養墓があるのでしょうか。
第21問	医師田中玄回とはどなたのことでしょうか。
第22問	討入り後、泉岳寺で湯漬け（食事）を出されたと時、上野介の首を目の前に置いて食事をした方がおりましたがどなたでしょうか。
第23問	大正８年１１月（１９１９年)、皇室より従三位の位を与えられた赤穂浅野家の藩主がおりましたが、どなたでしょうか。
第24問	平成２５年１２月１４日現在、日本国内で元禄事件の研究者として尊敬できる方がおられましたら、お名前を書いて下さい。 （存命の方で、中央義士会以外の方に限ります）

第25問	近年、雑誌などのグラビア特集として「元禄事件」を組んでくれるのはありがいのですが、その内容についてどのように思いますか。次の中から選んで下さい。 ①実際の元禄事件を全く理解していない。 ②監修をお願いされている担当のその先生自身がぼけている。 ③よく調査をしてすばらしい編集をしている。 ④全く一歩の進展もない素人集団の編集人が多い。
第26問	乳井貢というかたは、元禄事件について何をされた方でしょうか。
第27問	「定性院嘉窓正慶大姉」とはどなたの戒名でしょうか。 ①寺坂吉右衛門の妻　②吉田忠左衛門の妻 ③貝賀弥左衛門の妻　④近松勘六の妻
第28問	次の文章で正しいのはどれでしょうか。 ①あら楽し思いは晴るる身は捨つる　浮世の月にかかる雲なし ②風さそう花よりもなほ我はまた　春の名残をいかにとやせん ③覚悟した程にはぬれぬ　春雨かな ④雲晴れて　心にかなふあした哉
第29問	吉良上野介の茶道の師匠はどなたでしょうか。
第30問	俗にいう日本三大仇討ちのことを、一富士・二鷹・三なすび　といわれることもあります。当てはまらない仇討ちはどれでしょうか。 ①伊賀越えの仇討ち　②吉良邸討入り ③曽我兄弟の仇討ち　④浄瑠璃坂の仇討ち

●なるべく期限ギリギリまで努力してご提出下さい。
●文章で答える問題はなるべく短く簡潔にお答え下さい。解答にならない分かりきっていることは書かないのがコツです。
●中央義士会の過去の出版物でも誤記はありますので充分確認の上、解答して下さい。

平成25年12月 第10回忠臣蔵2級試験問題解答票

1	番号		
2	名前		
3	名前	4	名前
5	名前	6	名前
7	名前	8	名前
9	番号	10	番号
11	番号	12	番号
13	名前	14	番号
15	番号	16	名前
17	名称		
18			
19			
20	名前		
21	名前	22	名前
23	名前	24	名前
25	番号		
26			
27	番号	28	番号
29	名前	30	番号

●提出期限は、平成２６年 10月末日必着です。
●FAXでも受付けます。FAX番号 ０４８－９７３－３７９０
●この答案用紙はコピーをして、予備を作っておいて下さい。
●答案用紙の提出は期間内、一度のみです。
●他の受験者・会員に答を教えますと不正になります。

氏名			
住所	〒	電話	
		FAX	

（財）中央義士会
金子堅一
東京都荒川区在住

播州赤穂
忠臣蔵問屋わたや
店主　矢野英樹
赤穂城隅櫓北隣　0791（42）1151

（財）中央義士会
副理事長
冨岡克
東京都中央区在住

（株）オフィス　ベラ
医療コンサルタント　訪問看護
訪問リハビリテーション
代表取締役
武類俊哉
東京都北区在住

（財）中央義士会
監事
塚原裕子
〒一四四―〇〇一五　東京都大田区蒲田

真実の「忠臣蔵」「赤穂事件」の探求の勉強はいつするの！
今でしょう！
有限会社　吉田商店
代表取締役　**吉田泰仁**
函館市古川町９１番１２（〒041-0262）
TEL /FAX (0138)58-3710
携帯　090-8899-5171
めしの種 / 清涼飲料水卸業
イベント・催事業
血液型　o型　　星座　/ おとめ座
Birthday / 9月15日
趣味 / 阪神タイガースを心から愛する事
忠臣蔵（赤穂義士）の研究
幕末維新の研究
口称 / 寅さん　FAMILY/ 嫁（定子）1人
ラッキー（パピコン）1匹
POST/（財）中央義士会評議員　忠臣蔵博士
函館愛虎会幹事長
北海道街商共同組合理事

（財）中央義士会
評議員
三輪三郎
川崎市麻生区在住

堀部安兵衛武庸の義心を伝える「武庸会」百周年
越後新発田
嶋谷次郎八
新発田市御幸町一の一の一

式典・講演会・試写会・など多目的に
ニッショーホール
（日本消防会館）
貸し会議室あり（大小4室）・地下飲食店7店舗
東京都虎ノ門二丁目九番十六号
Tel 〇三―三五〇三―一四八六

（財）中央義士会
理事
高城和夫
東京都西国分寺在住

ご連絡
この度、全国義士会連合会会員の「NPO法人忠臣蔵を守る会」の名称が**「NPO法人忠臣蔵倶楽部」**に変更となりました。十月に正式認証されましたので、ご連絡いたします。
今後もよろしくお願い申し上げます。
NPO法人　忠臣蔵倶楽部事務局